

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 27日

事業所名 多機能型事業所 やまびこ学園

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・長期休暇時は、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業が重なる為、活動するスペースに余裕がありません。今後検討が必要です。
	2	職員の配置数は適切である	○		・配置数は満たされており、障がいに応じて1対1で対応をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・職員会議を定期的に行い話し合い改善に努めています。	・定期的な会議は継続し、報連相も徹底していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			・令和5年度は兎免で実施したため、令和6年度は放デイでも実施できるよう検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・ニーズの聴き取りや適切なアセスメントができるよう、職員の資質の向上に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・定期的な話し合いを行い、チームで行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			個々の状態に応じて活動プログラムを検討すると共に職員の資質向上に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		個々の状態に応じて課題を検討すると共に職員の資質向上に努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別対応を実施しています。	個々の状態に応じて計画作成を検討すると共に職員の資質向上に努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・担当が決まっている場合は、担当者が支援内容を考えています。 ・分担はその都度の相談となっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・職員会議や記録を通じて共有しています。	記録からの情報収集と、適宜カンファレンスを行い、情報共有をしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	○		・ノートで情報共有を 行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている		○		・通所事業所との会議時に助言を受けていきま す。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		○			
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		○	・企画をしたが、参加者 が得られませんでした。	・保護者会(年1回)を計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○			・活動状況など、保護者様にお役に立てる情報 を発信できるよう努めます。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・保護者様用に分かりやすいマニュアルを作成し周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		・いざという時の為に、シミュレーションの検討をしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ヒヤリハット時は報告書を作成し共有しています。